

1. 評価報告概要表

作成日 2007年10月26日

【評価実施概要】

事業所番号	1072100645
法人名	有限会社すわ福祉ネット
事業所名	グループホームさちの里
所在地	群馬県高崎市金古町987-1 (電話) 027-360-6778

評価機関名	特定非営利活動法人 群馬社会福祉評価機構
所在地	群馬県前橋市新前橋町13-12
訪問調査日	平成19年10月16日

【情報提供票より】(19年 9月 15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	6人, 非常勤 2人, 常勤換算 7.1人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	1階建て	1階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	光熱費	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	390 円
	夕食	390 円	おやつ	50 円
	または1日当たり 円			

(4) 利用者の概要(9月 15日現在)

利用者人数	9名	男性	0名	女性	9名
要介護1	4名	要介護2	3名		
要介護3	1名	要介護4	1名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢	平均 78.8歳	最低	63歳	最高	90歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	二之沢病院 本多歯科医院
---------	--------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

認知症介護の経験のある夫婦が自分たちの理想とするホームを「さちの里」と名づけて、「絹の里」の近くに4年前に開所した。理念は、利用者の自由と意志を尊重して、家庭のような安らぎを感じられるよう「安心・安心の得られるケア」を重視している。外出等アクティビティ活動を多く取り入れており、地域との交流を大事にされている。ホームに隣接した土地は農園になっていて、利用者は野菜の栽培や収穫を楽しみ、また食卓にも上っている。管理者の子どもは友達を連れてホームに来るので、日常的に子どもとの交流が行われている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回評価の課題について施設長と管理者は理解されており、利用者の家族に文書にて報告し意見を求め、その結果を含め全職員で検討された。その結果、課題の改善された項目もあるが、ホールと玄関の境に衝立をおくことについては現状どおりと結論づけた項目もある。</p>
	<p>施設長は、職員に自己評価の意義やねらいについて説明している。自己評価は、施設長と管理者が中心になって全職員に聴きながら取り組んだ。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、議事録に記載している。ホームの活動状況や利用者の様子、評価結果の報告をしている。参加者から意見をもらい、災害時の応援要請の了解を得たり、長寿会行事への参加、民生委員から利用者の紹介を受けたりしている。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>運営に関する家族等の意見は、家族がホームに来所した時や、運営推進会議の場あるいは、相談・苦情等に対する窓口等で対応している。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の人に野菜をいただいたり、散歩の時に挨拶をかわす関係を築いている。地域の神社の祭りやどんど焼きなどに参加したり、ホームが子ども神輿の休憩所になったり、婦人会の要請で認知症の説明を行うなど、積極的に地域の人々との交流に努めている。</p>

2. 評価報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念は、ホームの名称につながる「家族のような安らぎを感じ幸せな時間を過ごせるように」また「利用者が地域の一員として生活できるように」を主に6項目掲げられている。	○	運営理念は、その事業所のめざすサービスを端的に示すものなのでパンフレット等に記載していただきたい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は、ホーム内に掲示されている。管理者と職員は、日々のケアの場面や朝の申し送りや職員会議の時に、理念に添った実践を行っているか確認している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の人に野菜をいただいたり、散歩の時に挨拶をかわす関係を築いている。地域の神社の祭りやどんど焼きなどに参加したり、ホームが子ども神輿の休憩所になったり、婦人会の要請で認知症の説明を行うなど、積極的に地域の人々との交流に努めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回評価の課題について施設長と管理者は理解されており、利用者の家族に文書にて報告し意見を求め、その結果を含め全職員で検討された。その結果、改善計画シートに記載され改善に取り組んだ項目もあるが、ホールと玄関の境に衝突をおくことについては現状どおりと結論づけた項目もある。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、議事録に記載している。ホームの活動状況や利用者の様子、評価結果の報告をしている。参加者より意見をもらい会議の結果、災害時の応援要請の了解を得たり、長寿会行事への参加、民生委員から利用者の紹介を受けたりしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	日頃から個別ケースの相談をしたり、毎月1回行政の主催する会議に参加したり、介護相談員を受け入れたりして、市町村との連携をとっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回の支払い時に、家族の来所をお願いしている。その際に、利用者の様子の写真を渡しながらか報告したり、希望を聴いている。運営推進会議の開催をお知らせするため、ミニ新聞「ニコニコかぞく」を作成した。今後の継続的な作成を検討している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等の意見や苦情は、家族等がホームに来所した時、運営推進会議の場、相談・苦情等に対する窓口等で対応している。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	事業所は1つしかないので異動はなく、馴染みの職員が継続して支援できる体制で取り組んでいる。離職時は、「勉強に行ってくる」等言って、利用者マイナスのイメージを与えぬように配慮している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営規程で、質的向上を図るため、採用後1ヶ月以内の採用時研修と年に2回の継続研修の機会を確保することを謳っている。また、交換研修やグループホーム大会などに、交替で参加している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他の事業所の職員を受け入れたり派遣したり、また年に1回地域密着型サービス連絡協議会主催の事例発表会に参加して、相互の活動を通じてサービスの向上に取り組んでいる。同業者間による勉強会や研修会にも参加している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、家族と一緒にホームに来所してもらい、お茶を飲んだりして体験的にサービスを利用させていただくことで馴染みながらのサービス利用を支援している。利用者にはわかりやすいように、パンフレットに「見学においで下さい」「何でもご相談ください」等明記している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者と散歩や料理をしながら、時には話を聞いてもらい、励まされることがある。仕事が終わり帰る時に、玄関まで送られることもある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の思いや希望について、日々の関わりの中で把握に努め、アセスメントシートに記入している。困難な場合は、家族等の意向も記入し、利用者の立場で検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の意見や意向を話をしながら聴き、家族から来所時に意見や意向を聞いて記録している。それを基に、職員が意見を出し合い、利用者本位の介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は、3ヶ月に1回見直しを行っている。状態に変化があった時は、個別ファイルやケアチェック表に詳細に記入して情報の共有を図り、見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	地域の高齢者の相談・援助活動を、随時行っている。旧群馬町地域の5ヶ所の事業所が合同で、地域の人を対象とした認知症を理解する講座及び相談会を行う予定もある。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	一人ひとりの馴染みのかかりつけ医による継続的な医療が受けられるように、送迎を行う等の支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合のあり方を、家族に確認して医師と連携をとりながら行っている。嚥下障害のある利用者を、関係者と相談して早めに退院させ、ホームで1時間以上の食事介助をしながら支援をしている。ホームでの生活が困難になった場合は、入院の方向で方針を共有している。	○	早い段階から、終末期のあり方について利用者や家族等と話し合いをもつ機会をもっていただきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の人格を尊重し、支援が必要な場合はプライバシーに配慮した言動や行動を心がけている。職員の採用時は、「個人情報に関する同意書」に同意をもらい、利用者には不利益が生じないようにしている。また記録等の保管は、事務所内に行っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの日課計画表があるが、その日の本人の希望や意向にそった日々を過ごしてもらっている。食事の際は、その人のペースを見守り、必要な場合のみ介助して摂取できるようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立は、利用者の希望を取り入れながら作成している。食事の準備や片付け(下膳、食器洗い、戸棚に納める)は、利用者と一緒にやっている。職員と利用者が栽培して収穫した新鮮な野菜等を食材に使うなど、食事を楽しむ支援をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は、隔日で週3回10時から15時半くらいまでの間に設定している。畑仕事や散歩で汗をかいた時等は、シャワーや入浴を行っている。入浴は、一人ひとりが楽しめるよう個別入浴で輪番表を作成している。入浴を拒否するような場合は、時間をおいて声かけをしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書道やマフラーなどの編み物、すいとん、菓子、饅頭などの料理など趣味や特技を活かしたり、折り紙やボールゲームなどの楽しみごとをしたり、畑仕事や居室やホールの掃除、料理の準備や片付け等それぞれが役割を持って生活できるように支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩は、自然に囲まれた環境を活かし、ほぼ毎日行っている。散歩で、犬の散歩をしている人と顔馴染みになったり、野菜をいただいたりしている。また希望にそって買物や外食、日帰り旅行などに出かけている。利用者の状況を理解して自由に気兼ねなく訪れることのできるお店を定めている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	鍵は、日中はすべてかけていない。安全面に配慮しながら自由に過ごせるように、玄関からホールは遮るものがないので注意して見守りを行っている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回利用者と共に、火災発生場所を想定した避難誘導等の防災訓練を行っている。災害対策マニュアルも作成してある。災害時の応援要請を、担当区長より了解していただいている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養摂取量や水分確保の状況は、健康管理綴りや個別記録や業務申し送り日誌の中に詳細に記録され情報を共有している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	台所は、居間や和室が見える対面式なので、利用者は職員と会話をしたり、料理の臭いを感じながら食事を待つことができる。四方に窓があり、また廊下や庭、玄関外に椅子が用意されていて、景色を楽しみながら過ごせるような工夫をしている。玄関には、外出時の写真が飾られたり、季節の柿の実が置かれていたり工夫をこらしている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、使い慣れた家具や調度品が持ち込まれている。自分が作った作品や家族の写真などが飾られている。		